

科目名	臨床人間学	
担当者	野添 新一 / NOZOE, Shin'ichi	
科目情報	心理臨床<基礎> / 必修 / 前期 / 講義 / 2単位 / 1年次	
科目概要	授業内容	科学技術の進歩は私どもの生活や生き方を急変させて、現況では人間本来の適応力をも上回っているようである。それらのもたらす功罪、脳科学の発達、ストレス病、行動障害、病む人間関係に見られる問題など現代社会に特有な課題を取り上げる。
	到達目標	生老病死の問題は日常的にはあまり話題とはならないが、誰にとっても予想外の形で直面させられ避けることはできない。この講義を通して、自らの生き方、自己あるいは他との係わり合いの重要性と、様々な人間に見られる問題を通して人間理解を深める。
授業計画	(1) なぜ「臨床人間学」を学ぶ必要があるか？ (2) 脳についての新しい知見 (3) ストレスとは (4) 心の病(1)-うつ病 (5) 心の病(2)-不安性障害 (6) 心身症 (7) 嗜癖-そのメカニズムと実態 (8) 出生前診断-その功罪、倫理上の問題 (9) 痛みの人間学 (10) 摂食障害-その原因と背景について (11) 生活習慣病-高齢化社会との絡み (12) 老い (13) 自殺 (14) 死生学-安楽死、尊厳死など (15) アルツハイマー病(認知症)	
自学自習	事前学習	・各テーマについて予備知識を得ておくこと
	事後学習	配布資料から、自分の興味や関心を広げて欲しい。
使用教材・参考文献	【教】講義毎にプリントを配布する。 【参】生・老・病・死を考える15章、実践・臨床人間学入門(庄司進一著)朝日新聞社；参考になるが少しレベルが高い。	
成績評価方法と基準	講義の中から、試験を実施する。 採点は80点、レポート20点	
備考		